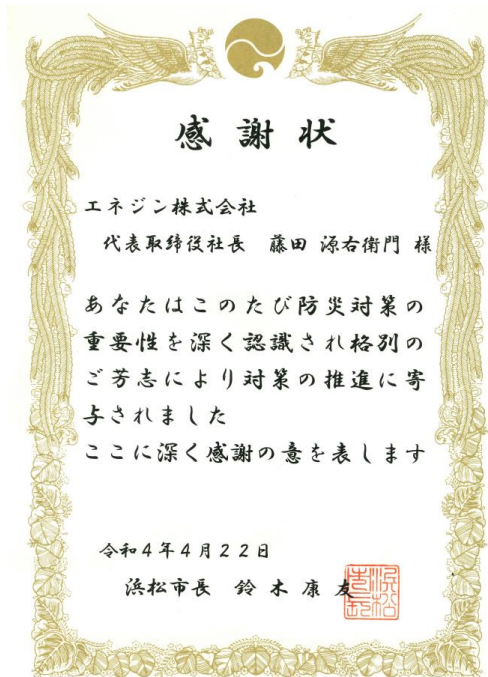


【寄贈】災害対応トイレを浜松市に寄贈しました



災害対応トイレ 浜松市に寄贈 杏林堂とエネジン

杏林堂薬局（浜松市中区）とL.P.ガス販売のエネジン（同）は22日、市の災害対策強化に貢献するため、少量の水で流すことができるトイレ3台を市に寄贈した。

トイレは住宅設備大手LIXIL（リクシル）の「レジリエンストイレ」。平時は通常の水洗トイレとして使用し、災害で断水が生じた場合は洗浄水量を通常の5リットルから1リットルに切り替えて利用することができる。

杏林堂薬局の小河路直孝社長とエネジンの藤田源右衛門社長、リクシル中部支社の峰松英利支社長が中区の市防災学習センターを訪れ、市の小松靖弘危機管理監に目録を手渡した。寄贈されたトイレは市内の防災拠点や避難所に指定されている学校に設置する予定。当面の間は、同センターで展示するという。

災害時に洗浄水量を抑えるトイレを寄贈した贈呈式＝浜松市中区の市防災学習センター

杏林堂薬局様とエネジンは、災害対策強化に貢献するため、災害対応トイレ3台を浜松市に寄贈しました。寄贈したLIXILの「レジリエンストイレ」は、平時は通常のトイレとして使用でき、断水時は洗浄水量を5リットルから1リットルに切り替えてつかうことができます。防災センターでの展示後、市内の防災拠点や避難所に設置予定とのことです。今後も、私たちが出来ることを見つけ、地域の皆様のお役立ちをしていきます。

令和4年(2022年)4月24(日)

静岡新聞

